

各位

オリエンタル酵母工業株式会社
東京都板橋区小豆沢 3-6-10**オリエンタル酵母工業（株）東京食品研究所の
微生物培養実験用設備を移転・増設**

オリエンタル酵母工業（株）（本社：東京都板橋区、社長：内藤利邦、資本金：26億17百万円）は、このたび同社東京食品研究所（東京都板橋区）の実験用培養（発酵）設備の移転・増設を行いました。

東京食品研究所は、昭和4年（1929年）当社創業と同時に発酵研究室として開設され、微生物特にイーストを中心とした研究・開発を行ってまいりました。

近年の顧客からのイーストに対する要望は、高糖生地発酵力を有する菓子パン用酵母や冷凍・冷蔵生地用酵母をはじめ、近時の新たな香りを求めている多様な酵母など、従来に増してより多品種へと進んでおります。そのため、イースト事業だけに留まらず、発酵液等の酵母を含む微生物有効利用事業を大きく発展させるためにも、研究設備の統合による研究の効率化と、実験用培養／発酵設備充実による研究開発のスピードアップが急務と考え、今回の設備移転・増設となりました。

今回の移転・増設において最新の制御システムを導入したことにより、さらなる能力アップを図り、より広範な培養（発酵）条件の設定を可能にしました。試験管培養からジャーファーメンター培養まで、分析から製パンまでをスムーズに行うことが可能になり、全ての研究開発工程を一元化することによる効率化が図れました。さらには、周辺設備の充実により、より新規なテーマに取り組むことができるようになりました。

また、実験用スペースは、100㎡から220㎡へと2.2倍の広さとなりました。

なお、総工費は、周辺設備と合わせて1億1千万円です。